

薬学への招待 Invitation to Pharmacy

素養科目 1年／前・後期 2単位 必修科目

科目責任者 高波 利克(副学長)

■ 教育目的

薬学は時代の変遷とともに受け持つ分野が拡大している。また、社会の要請に従って変化して行く。

薬学は『くすり』についての総合科学である。新しい『くすり』をつくる創薬科学、『くすり』の作用と生体の機能を解き明かす薬学独自の生命科学、そして病気の予防、保健などに深いかかわりをもつ衛生薬学、さらに医療の現場で『くすり』を適正に使用することを学ぶ医療薬学に至るまで、薬学は幅広く奥の深いものである。

本講義は薬学部に入學した学生に、「薬学とは何か」を伝える導入教育である。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-①、YD-②、YD-⑤】

■ 学習到達目標

「薬学とは何か」を命題としてもち、充実した学生生活を送るために、薬学の目指す学問領域、薬剤師および薬学研究者の職域とその任務について概要を理解し、体験(見学)を通して薬学へのモチベーションを高める。

■ 準備学習(予習・復習)

予習：授業内容のキーワードを調べてみる。(30分以上)

復習：講義で興味や疑問をおぼえた箇所などを積極的に調べ、「薬学とは何か」を探究しよう。(30分以上)

■ 授業形態

ディスカッション・ディベート、プレゼンテーション、講義

■ 授業内容

早期体験学習では施設を1～2箇所訪問見学し、訪問先でグループワーク、ディスカッションを行うことがあり、それらの体験をもとにレポートを作成するとともに、大学で学生代表がプレゼンテーションを実施する。

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	薬学の歴史と薬剤師	大学で学ぶ薬学、薬学の歴史	A(1)-①②
2	明治薬科大学の歴史と使命	明治薬科大学の歴史と使命	A(1)-①②
3	薬科大学で何を学ぶか	明治薬科大学の教育理念	A(1)-①②
4	早期体験学習	オリエンテーション	A(1)-①②④ A(4)-①、B(4)-①
5～6	薬学と社会	薬学を取り巻く法律と制度、社会保障制度	B(1)-① B(2)-①②③ B(3)-①②
7	健康薬学	生活の中の食品衛生	D1(3)-①②③ D2(1)-①②③
8	薬の効果と個人差 薬の相互作用	薬の体内運命と成長・加齢・疾病の関係、薬の作用メカニズム、薬の作用が他の薬によって変わる理由	E1(1)-①、E4
9	医療と薬剤師 1	多様な社会ニーズに応える将来の薬剤師のあり方	E1(1)-①、E4
10	医療と薬剤師 2	未来を担う小児期医療と薬剤師の役割	B(4)-①②
11	薬剤師の現在と目指す未来	薬剤師とは、医薬分業とは、医療とは、目指す薬剤師像	A(1)-③④ A(2)-①②③④
12	薬学に求められる倫理観		A(2)

■ 授業分担者

No.1、2、3：越前 宏俊 No.4：川北 晃司 No.5、6：廣瀬 誠 No.7：高野 伊知郎 No.8：花田 和彦 No.9：安武夫 No.10、11：石川 洋一 No.12：学外講師

■ 課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

課題提出(在宅)(30%)、レポート試験(在宅)(30%)、施設見学・グループ討論の態度(40%)により総合的に評価する。

■ 参考書

『ヒューマニズム・薬学入門』日本薬学会 編(東京化学同人)

『薬学と社会』日本薬学会 編(東京化学同人)

『早期臨床体験テキスト』田口 忠緒 編(ネオメディカル)

『薬学概論』沢村 良二 編(南山堂)

『薬学概論 改訂第4版』辰野 高司 他 編(南江堂)